

事業所名

デイセンター きらきら

支援プログラム

作成日

7 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		社会福祉法人 蒼生の会は、「個人が地域の中において、尊厳をもってその人らしい自立した生活が送れるように支援する」「日々が楽しいと思える支援をこころがけています」					
支援方針		心身に障がいのある学齢児に対して、発達の促進と生活の質の向上を図るため、日常生活における基本的動作の習得及び集団生活に適応できるように適切な支援を行うよう努める。また、身体及び精神の特性、並びにその置かれている環境を考慮して創作的活動、機能訓練、音楽療法、臨床美術、社会適応訓練、レクリエーション等々のサービスができるよう、意図的、計画的な支援を行う					
営業時間		月～金	13:00～17:30	土曜日・長期休暇 休校日	8:30～15:30	送迎実施の有無	あり
本人支援	健康・生活	○定期的な心身の把握（毎回の体温測定、定時排泄、体調チェック） ○日常生活における基本的動作の習得（登所時の一連の動作 靴を片付け⇒連絡帳を出す⇒カバンの片付け⇒制服から私服の着替え等々） ○構造化を意識したレイアウト・提示・支援（視覚的に「なにがどこにあるか」「どこで何をするのか」具体的に表示。○SST、ABA等による集団活動に適応できるように適切な支援を行う。					
	運動・感覚	○感覚統合訓練（スヌーズレン トランポリン、ボールプール 散歩 等々） ○音楽療法（わらべ歌 手遊び 集団遊び 縄跳び 他）○ランニングマシンでの体力強化 ○球技や集団運動（バスケット サッカー、卓球、公園散歩、サバゲー、鬼ごっこ、他） ○臨床美術（脳の活性化・心の解放を促し感性教育、自己肯定の醸成）					
	認知・行動	○天気、気温、日付の把握と感覚・数の認知形成 ○タイムスケジュールの確認により時間の認知形成 ○作業を通して工程を学び認知・行動を支援する（箸を使いカラーボールの色分けや小豆などの移動等々。）					
	言語 コミュニケーション	○始まりの会での今日の気持ち、やりたいことなど発表し言語表出・受容 ○帰りの会で活動の振り返りと気持ちを発表して言語表出・受容 ○遊び、集団活動などを通してルール作り等々でコミュニケーション手段を構築。○読み聞かせを通して、コミュニケーション手段や感情表現スキル、模倣、表現を学ぶ。					
	人間関係 社会性	○遊び、集団活動などを通して役割のある協同遊び ○ルールの理解が必要な遊びや集団活動 ○一人遊び、並行遊び、連合的な遊びの組み合わせ ○アタッチメントの形成の確認し（自尊心を高める 自分を認める、一人でできるの構築）○郊外活動やグループ外出などを通し地域との交流を図る。○臨床美術（脳の活性化と心の解放を促し、感性教育、自己肯定感の醸成）					
家族支援		○連絡ノートや送迎時などで随時情報共有をするとともに、随時療育相談や健康相談に応じて、情報提供等の支援を行う ○兄弟姉妹などが参加できる行事を設けて交流を図る ○障害の特性に配慮した家族支援。			移行支援		○学校活動がスムーズに展開できるように学校との連携を密にし必要に応じて担当者会議、ケア会議等も実施する。○高校卒業後、進路支援を行う。
地域支援・地域連携		○外出支援で地域のイベントの参加 ○地域のボランティア活動の受け入れ ○福祉専門学校や介護等体験等の実習生を受け入れ交流をする			職員の質の向上		○毎月の事業所会議実施 ○虐待研修、身体拘束、BCP、等研修実施 ○毎日ミーティング ○療育・制度・5領域等にかかる読み合わせ
主な行事等		○土曜日、長期休暇 8月（お泊り会、海水浴、グループ外出（地域の乗り物外出、イベント参加 他） ○年間行事 5月（鯉のぼり・カレーパーティー等） 7月（流しソーメン） 9月（野外炊飯） 10月（芋ほり・ハロウィン） 12月（クリスマスパーティー・餅つき） 1月（初詣、書初め、ムーチー作り） 2月（たんかん狩り 節分） ○ 月間・週間プログラムはホームページ又はお便りに提示					